



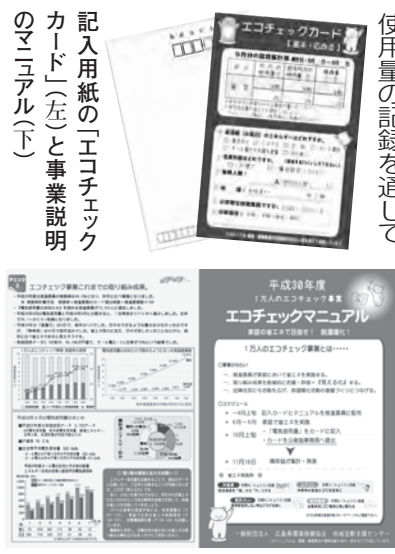
活動PRグッズの一例

次世代に住みよい環境を残すこと、継続して自然の恩恵を享受できる環境を維持することとをねらいに、市町・支部・地区・学区レベルで実践されている地域清掃活動・美化や、水質改善・水質保全、里地里山づくりなど、環境保全活動の継続と促進を行います。

実施公衛協には、のぼりや横断幕、アドプトサインなど活動PRグッズ(左)をお届けします。

また、活動記録を残し、集約して広く公表することで、公衛協の

公衛協発・ひろしま美化大作戦 実績の集積と発表でPR



二酸化炭素排出量削減のため、家庭で省エネに取り組み、電気の使用量の記録を通して、省エネ成果の見える化を図ります。見える化できる人材が地域に増えるコース、電気・ガス・灯油の使用量を記録する「深めるコース」を設定し、8月から9月の1ヵ月間の省エネ

1万人のエコチェック事業 省エネ効果の見える化で普及啓発

えることで、省エネのライフスタイルを広めるねらいを持って取り組みます。

電気の使用量を記録する「基本コース」と、推進委員以外にも取り組むの輪を広げる「広めるコース」、電気・ガス・灯油の使用量を記録する「深めるコース」を設定し、8月から9月の1ヵ月間の省エネ

全県共通事業 重点メニュー紹介

環保協では、各公衛協で環境づくり・健康づくりに取り組んでもらえるよう「全県共通事業重点メニュー」を提案しており、平成30年度は5つの事業を実施しています。

各事業の実施内容は、地区衛生組織代表者会議・専門部会で協議し、市町単位から支部地区学区単位まで全ての公衛協で取り組めるようになっています。

各事業の実施要領は、当協会HPに公開している他、市町公衛協事務局でもご確認いただけます。積極的に取り組み、地域の環境づくり・健康づくりにお役立てください。

効果を記録します。

省エネ型ライフスタイルの定着をねらい、全推進委員の50%以上の実践を目標にしています。

平成29年度の実践率は40・3%でした。対象者は、県内の公衆衛生推進委員約1万人と、実践率が50%を超えた公衛協は「広めるコース」を選択できます。

国が定めた「第3次食育推進基本計画」の重点課題である「健康寿命の延伸につながる食育の推進」に係る取り組みとして、食育推進月間である6月に、公衆衛生推進委員が自ら

1万人の食チエック事業 食から考える健康寿命の延伸

ける取り組みです。

目標は、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合70%以上」および「全県で実践率50%」とします。平成29年度の実践率は36・2%でした。

実施期間は、強化期間6月19日～6月25日の7日間と毎月19日(食育の日)を設定し、対象者は、県内の公衆衛生推進委員約1万人です。



「がん検診へ行こうよ!」キャンペーン事業 運動の習慣化を促進

公衛協が市町の保健部局と連携して、「がん検診の受診率向上を図ります。

公衛協が取り組む各種イベントなどで、環保協が作成・入手した受診勧奨グッズ(受診



大腸がんクイズラリー(上)と乳がん触診モデル(下)

実施に際し、携帯用救急セットや歩数計、スタッフ用リュックサック

ク(上写真)のグッズを環保協が提供するほか、PR用ベストや誘導用の旗などの貸し出しを行います。

ねらいは、健康寿命



大崎上島町のウォーキング(右)と記念のノート(下)

の延伸と住民の健康づくりで、各公衛協で参加者の目標を設定します。「広島県健康増進計画 健康ひろしま21(平成25～34年度)」で目標としている、「ライフステージに応じた運動習慣の定着が図れる」取り組みとして、地域住民が積極的にウォーキングや散歩に取り組める地域「ミニテ

す。

また、環保協は研修を開催し、公衛協の取り組みを推進する「広島県がん検診推進員」を養成します。

乳がん触診モデルや大腸がんクイズパネルなど貸し出し教材も準備しています。

さまざまな機会を活用し、啓発することで、広島県のがん検診受診率向上に寄与し、健康寿命の延伸を図ります。



府中町「つばき祭り」での紙芝居の上演

平成29年度 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上とった日数

